

「TOKYOスポーツレガシービジョン」

○大会の成果を東京のスポーツ振興に活かし、都市の中で根付かせていく姿を示した

1 | 都立スポーツ施設の戦略的活用

5 | 東京のアスリートの活躍

2 | 国際スポーツ大会の誘致・開催

6 | ボランティア文化の定着

3 | スポーツの場を東京の至る所に拡大

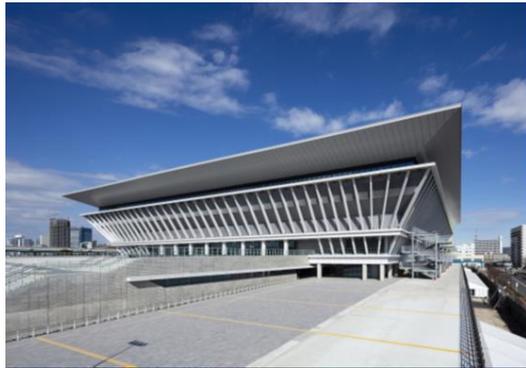
7 | 未来へのメッセージ

4 | パラスポーツの振興

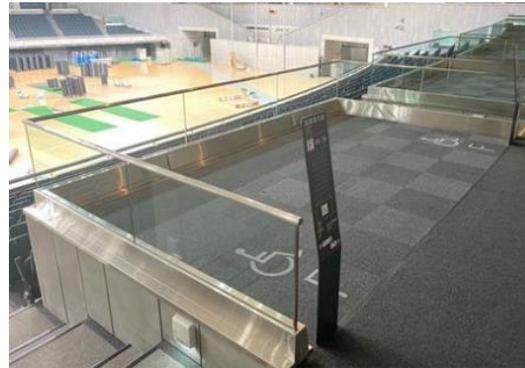
都立スポーツ施設の戦略的活用

○18施設のネットワークでポテンシャルを最大限発揮

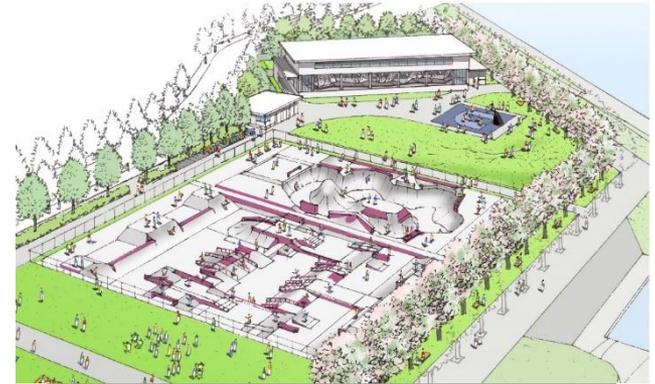
○各施設を最大限活用。多様な活用を推進



新規恒久施設の整備
(東京アクアティクスセンター)



既存施設のバリアフリー化
(東京体育館)



有明アーバンスポーツパーク(仮称)

パラスポーツの振興

- 大会での盛り上がりを更に高め、パラスポーツを普及
- 障害の有無を問わず誰もが楽しみ、観戦し、交流するための取組





©Tokyo 2020 / Uta MUKUO